

第 2 回 歴史文化保存展示施設専門検討委員会 会議録

日時 令和 2 年 8 月 31 日(月) 午前 10 時 00 分～午前 11 時 50 分
場所 浜田公民館 1 階 研修室
出席者 委員 12 人、市執行部 9 人

1 検討会要旨

- (1) 市長あいさつ
本日は第 2 回検討委員会となる。専門委員の皆様には、それぞれの分野での経験や視点から、様々なご提案をいただきたい。
- (2) 長畑会長あいさつ
本日はレジュメのとおり、現在の浜田郷土資料館と世界こども美術館の活動等についての共通認識を得ることが目的である。
- (3) 事業費内訳について(資料 1)
 - ・中山委員より、前回検討会における「バブル期のような建設単価」という発言について訂正あり。
 - ・事務局説明
事業費は目安であり、検討を進める中で決定をしていく。
 - ・質疑は別紙 3 参照
- (4) 浜田郷土資料館の活動や資料状況について(資料 2)
 - ・事務局説明
 - ・質疑は別紙 3 参照
- (5) 世界こども美術館創作活動館の活動や資料状況について(資料 3)
 - ・事務局説明
 - ・質疑は別紙 3 参照
- (6) その他
 - ・第 3 回 専門検討委員会の開催について
令和 2 年 9 月下旬から 10 月上旬に開催予定



第 2 回 歴史文化保存展示施設専門検討委員会 意見要旨

議題「事業費内訳について」		
No.	内容	
1	意見	<p>第 1 回検討委員会で発言をした建設単価については、会議終了後に、整備費積算根拠の詳しい資料を受領し、積算根拠となった金額には、世界こども美術館の改修費用や諸経費が含まれていることを確認し、単純な単価計算では、正確な分析ができないことが判明した。ちなみに、建設費は 1 m²あたり 53 万円となり、一般的な建設費だと思う。</p> <p>従って、「バブル期のような建設単価」という発言の訂正をお願いします。</p>
2	意見	<p>建設費については、新聞報道もなされたため、他の博物館の建設費用との比較の中で、市民にも伝える必要があると考える。</p> <p>ちなみに、他館の m²単価は、県立出雲古代歴史博物館は 56 万円、出雲弥生の森博物館は 43 万円である。</p>
	回答	<p>建設費については、当教育委員会や市内業者に専門知識を有する者がいないために、建築住宅課と相談して積算した。また建設単価は面積が狭いほど高いこともある。</p> <p>今年度、専門業者とコンサル業務を契約する予定であり、建設費用等について判断しなおす余地もあり、その中で積算根拠をより明確にしていきたい。</p>
3	意見	コンサル業者はいつ決定するのか。
	回答	9 月 10 日の予定である。
4	意見	<p>コンサル業者が決定次第、部会でも検討を進めていただきたい。また、より一層市民に分かりやすい説明に努めていただきたい。</p>

議題「浜田郷土資料館の活動や資料状況について」		
No.	内容	
1	意見	<p>浜田郷土資料館の入館者が少なく驚いた。委託費約1,000万円で年間2,000人程度であれば、市民は収蔵庫があればいいのではと感じてしまうのではないか。他館の状況は、荒神谷博物館(出雲市)は委託費約4,100万円で年間63,000人、出雲弥生の森博物館(出雲市)は事業費4,700万円で30,000人、風土記の丘資料館(松江市)は、委託費6,000万円で15,000人の利用がある。浜田郷土資料館も年間5,000人は目指したい。</p> <p>また、ふるさと郷育で学校利用を主眼に置いているが、今後は児童も少なくなり、学校利用も減っていくと考えられる。学校利用だけでなく、浜田市民が郷土について知ってもらい、郷土に誇りをもってもらうようなコンセプトも必要。また、サイトミュージアムでもないので、展示で勝負する必要もあり、いろいろな考えが必要となる。</p>
	意見	<p>この発言は、今後の部会等でも重要なテーマとなるものである。</p>
2	意見	<p>小学校の授業において、世界こども美術館はミュージアムスクールで年1回は必ず訪れる仕組みとなっている。そのような仕組みが浜田郷土資料館にも必要である。</p>
3	意見	<p>浜田郷土資料館は、近年年間2,000人程度で推移しており、先ほどの指摘は確かである。</p> <p>特別展を開催すると、入館者数が増えると思うが、現状の3名体制や展示室のスペースのこともあり、困難な状況にある。</p>

議題「世界こども美術館創作活動館の活動や資料状況について」		
No.	内容	
1	意見	<p>入館者の議論が先ほどからあるが、美術館の活動を聞くと希望が見える。メインターゲットがしっかりしていることが強み。</p> <p>ワークショップに関しては、歴史系はどうしても内容が限られてしまうので、美術館のノウハウを取り入れると良い。歴史系は資料に関する知識の詰め込みのようになってしまいが、本来はその資料の楽しさなどを知ってもらうことが重要であり、美術系と歴史系が複合することは、とてもいいことだと思う。</p>
2	意見	<p>世界こども美術館建物のメンテナンスの面で、現状はどうか。</p> <p>また、他施設との連携という意味では、県へ施設誘致を依頼してみるのもいいのではないか。日本遺産になった神楽の博物館や物産館などが考えられようか。</p>
3	意見	<p>世界こども美術館においては、建物のメンテナンスが一番の問題となっている。具体的には、空調の故障や雨漏り、外壁の汚れなどが挙げられる。</p> <p>文化施設で大切と思うことは、建物自体(シンプルで長持ちするもの)・館の個性・子どもを育てること・学芸員などの人、であると考えている。</p>

全体を通しての意見		
No.	内容	
1	意見	<p>学校関係者として。浜田郷土資料館の学校利用については、近隣学校は授業で行けるかもしれないが、遠い学校は行き帰りが大変なので難しい。あわせて授業日数も窮屈なので、出かけることが難しい現状にある。その点では、出前授業などは効果的である。</p>
2	意見	<p>小学校の利用では、3年生や6年生の授業での利用が想定できる。この際、「体験」というのがキーワードになると思う。体験コーナーなどがあってもよいと考えられ、部会において、話し合いたい。</p>

3	意見	<p>浜田郷土資料館へ遠方の岡見小学校が来ているのに驚いた。当時の先生が熱心であったことがうかがえる。学校の先生にヒアリングをすると、どのように利用してよいかわからないなど、気持ちの面で、ハードルが高いことを言われる。こうやったら使えるなどの手引きを作ることも有効と考えられる。また、先生たちの掘り起こしも必要であるので、来浜した際にはヒアリングを実施したい。</p> <p>また、金沢 21 世紀美術館では、子どもを呼んで、その家族などをさらに呼び込む仕組みがある。このようなことも考えていきたい。</p>
4	意見	<p>新しく建設する場所の地盤は大丈夫か。</p> <p>また、収蔵庫も新館に併設した方が効率が良いと思う。</p>
	回答	<p>地盤に関しては、大丈夫であると認識している。</p> <p>収蔵庫に関しては、予算の範囲内という前提はあるが、建設予定地には多少の余裕もあり、今後議論をしていただきたい。</p> <p>また、世界こども美術館のメンテナンスについては、浜田市では今年度と来年度で公共施設の長寿命化計画を策定する予定であり、この中で世界こども美術館の維持管理についても、今回の整備費とは別に予算を考えていく。</p> <p>議論のあった入館者数については、昨年度の(仮称)浜田歴史資料館検討会において、1 万人程度の見込みで示している。これらの資料については、またお渡しする。</p>
5	意見	<p>浜田郷土資料館の学校利用については、資料館の体制がもっとしっかりしていれば、増えていたと思う。学校利用の際には、2 階の会議室に臨時的に民具を広げている関係で、学校側も遠慮されたこともあると考えられる。</p>
6	意見	<p>浜田高校教員時代に浜田郷土資料館を授業で使おうと思ったことがあったが、校外学習計画の作成などがあり、学校において、気軽に利用することは困難であると感じた。</p>
7	意見	<p>今回の議論によって、今後の検討課題が明らかになってきた。</p>